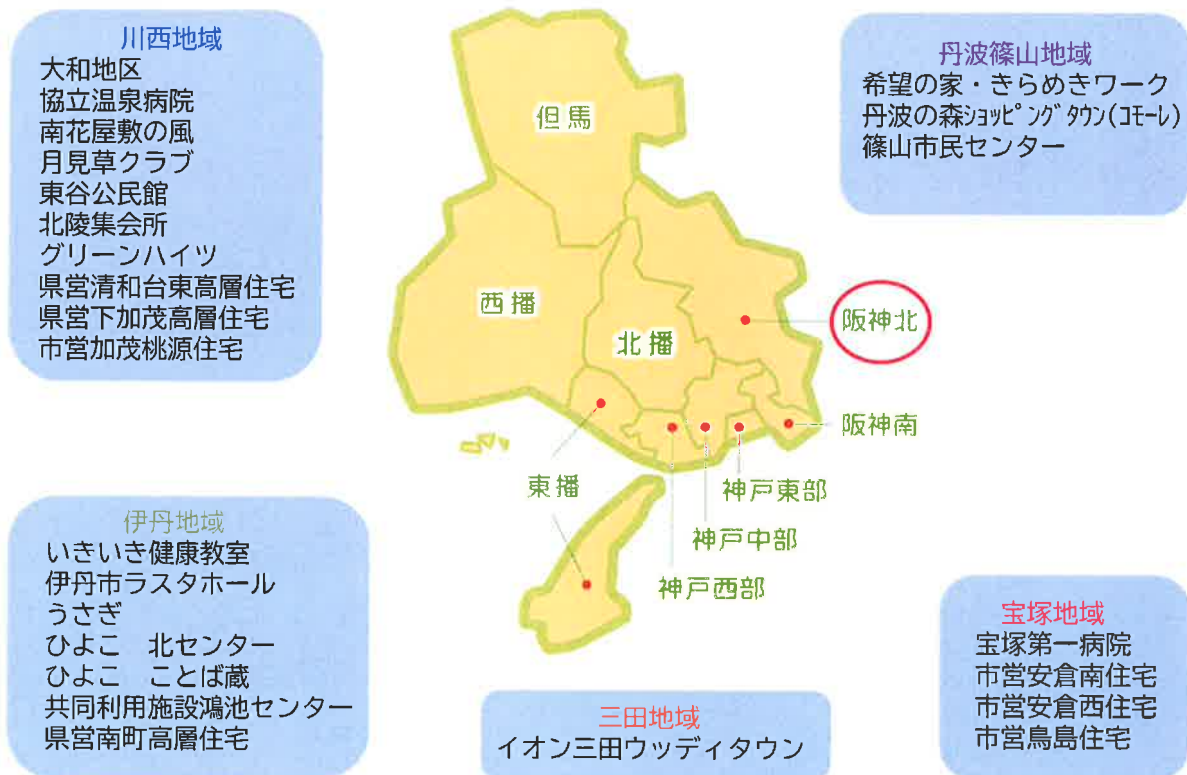


「まちの保健室」では、地域住民の健康と子育て支援を行い、疾病予防や介護まで様々な不安などを解決できるきっかけになれるよう、健康相談を行っています。阪神北支部では伊丹、丹波篠山、三田、宝塚、川西の5つの地区に「まちの保健室」拠点を置き、活動しています。

拠点開設場所一覧（25拠点）



今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ「まちの保健室」の拠点活動及び出前隊活動は殆どの予定を中止しました。昨年7月に、伊丹地区の地域住民からの要望があり、ボランティア看護師3名で、鴻池センターにおいて来所者19名の健康チェックを行い、感染予防のミニ講話や簡単な体操を行いました。

阪神北支部の「まちの保健室」事業のメインである、伊丹シルバーフェアや猪名川祭りなど地域のイベントが中止となっており、ボランティア活動の場が確保できない状況にあります。委員会では、今後の活動について、ホームページ等を利用した地域住民へのボランティア活動について検討しています。例えば、コロナ禍での注意点や病院への受診方法、自宅での健康管理などを広報することや、リモート等のICTを活用した支援などです。また、活動時には、感染予防に十分配慮した上で健康チェックを行い、参加人数を制限、個別対応して安全に留意していきたいと思います。

しかし、近年はボランティア数の減少により活動が難しい地域もあり、多くの看護職の皆さん、ボランティアへの登録をお願いします。